【武蔵野市生涯学習事業費補助金　申請チェックシート】

※申請する前に全項目を確認（☑）し、この用紙もあわせてご提出ください。

[ ] 　こすると消えるインクのボールペンや修正液・修正テープを使用していない。

[ ] 　特定非営利活動法人又は任意の市民団体である。

[ ] 　市内に事務所等の活動の拠点を有し、又は代表者が市内に住所を有し、かつ、主たる活動が市内の団体である。

[ ] 　５名以上でかつ半数以上の方が市内在住・在勤・在学の団体である。

[ ] 　団体が日頃の活動では取り組むことが難しい、広く市民に開かれた新規事業である。

[ ] 　以下、補助金の交付対象としない事業に該当していない。

[ ] 　営利を目的とし、又は営利事業を援助する事業

　[ ] 　特定の政党の利害に関する事業

　[ ] 　公の選挙に関し、特定の候補者を支持し、又はこれに反対する政治活動に関する事業

　[ ] 　特定の宗教を支持し、又は特定の教派、宗派若しくは教団を支援する事業

　[ ] 　参加料等を徴収する事業で、徴収金額がその運営経費を超えるもの

　[ ] 　事業実施及び準備場所について、公衆衛生、公害防止等の設備及び措置が不十分である事業

　[ ] 　本市（財政援助出資団体を含む）の他の助成金等の交付を受ける事業

　[ ] 　武蔵野市暴力団排除条例（平成24年９月武蔵野市条例第24号）第２条第１号の暴力団、同条第２号

の暴力団員及び同条第３号の暴力団関係者と関わりのある事業

[ ] 　過去に３回、同一内容で本補助金または武蔵野市子ども文化・スポーツ・体験活動団体支援事業費

　　補助金交付事業の交付を受けている事業

[ ] 　過去に本補助金または武蔵野市子ども文化・スポーツ・体験活動団体支援事業費補助金交付事業を

受けた事業で、交付の条件を履行しなかった事業

[ ] 　本市（財政援助出資団体を含む）との共催事業

[ ] 　同年度に武蔵野市子ども文化・スポーツ・体験活動団体支援事業費補助金交付事業に申請をしてい

る又はする予定のある団体

[ ] 　申請書、事業計画書に不備なく記入した。

　＜注意ポイント＞

　[ ] 　「代表者の肩書及び氏名」欄の代表者の肩書の記入がもれていないか。

　[ ] 　「他の助成金の交付の有無」欄の「受けていない」に丸がついている。

※申請する事業に市（財政援助出資団体を含む。）から助成金を受けている場合、本補助金の交付

対象になりません。

　[ ] 　「他の便宜供与の有無」欄の「受けている」又は「受けていない」に丸がついており、受けている

　　　場合はその名称も記入してある。

 　※市（財政援助出資団体を含む。）の登録制度によって、市民会館や学校施設、文化会館の使用料

　　　の減額を受ける社会教育関係団体、青少年関係団体、芸術文化団体、男女平等推進団体、芸術文化協会の加盟団体、青少協地区委員会等も含まれます。

　　　※どちらに丸がついていても本補助金の交付対象になります。

　[ ] 　記入見本を確認した上で記入した。

[ ] 　予算書に不備なく記入した。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（裏面へ）

＜注意ポイント＞

[ ] 　収入合計と支出合計が一致している。

[ ] 　以下、補助対象としない経費は含まれていない。

　[ ] 　団体の事務所その他の活動の拠点の維持管理に関する経費

　[ ] 　団体の構成員による会合に関する経費

　[ ] 　団体の構成員に対する人件費（旅費及び交通費を除く。）

　[ ] 　事業の終了後に団体又はその構成員の所有物となるものの購入費

[ ] 記入見本を確認した上で記入した。

[ ] 　必要な書類を全てそろえた。

[ ] 　交付申請書（第１号様式）

[ ] 　事業計画書（第２号様式）

[ ] 　事業予算書（第３号様式）

[ ] 　団体の今年度の活動計画書および今年度の収支予算書

[ ] 　団体の前年度の活動報告書および前年度の決算書

[ ] 　団体の規約、会員名簿（住所含む）および団体紹介資料

[ ] 　プレゼンテーション参加連絡票

[ ] 　その他市長が必要と認める書類

（旅費は積算の根拠となる資料、講師謝礼は講師略歴及び相場や下見積り　等）

本補助金を申請するにあたり、このチェックシートの項目をよく確認しました。記載した事項に誤りはありません。

団　体　名

代表者署名